

こんにちはコミュニティ  
**Community**



**CONTENTS**

- 02 令和3年度総会
- 04 コミュニティ研修会
- 05 オンライン会議に挑戦しよう！
- 06 書籍紹介
- 07 いきいきコミュニティライフ！
- 08 お知らせ

Vol.  
**118**  
September  
2021

# 令和3年度 栃木県コミュニティ協会総会 コミュニティ研修会

2021.5.24 (月)

栃木県総合文化センター 特別会議室



千金楽栃木県県民生活部長 来賓祝辞



5月24日(月)に栃木県総合文化センター特別会議室において、令和3年度の総会・コミュニティ研修会を開催しました。総会では、令和2年度の事業報告及び収支決算報告と令和3年度の事業計画・収支予算が原案通り承認されました。

同席上において、コミュニティ活動功労者の表彰も併せて行いました。この表彰は、多年にわたり住みよい地域社会実現のためにコミュニティづくりを推進し、成果をあげられている団体・個人を讃えるとともに、将来にわたりその活躍が期待される個人・団体に対し活動を奨励するために実

施しているものです。今年度は、コミュニティ協会会長表彰が1団体と1名の表彰でした。

入内澤会長は、あいさつの中で「昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大により、コミュニティ活動が中断や縮小を余儀なくされるなど難局が続いているが、感染防止対策を充分に講じられたうえで、地域を支える活動が維持・発展されることを願っている」と述べました。

コミュニティ研修会では、立教大学教授の萩原なつ子氏をお招きし、「男女協働で“ざらり”と光るまちづくり」と題したご講演をいただきました。ユーモアを交えた飽きさせないお話に、参加者のみなさんは、熱心に聞き入っていました。(講演の概要はP4をご覧ください。)



入内澤会長

## 【表紙の写真】 下侍塚古墳

下侍塚古墳は、大田原市湯津上那珂川右岸の段丘上に位置する「侍塚古墳」のうちの一つです。

国指定史跡「侍塚古墳」は、元禄5年(1692)、徳川光圀が国内初の学術的な発掘調査を実施させたことでも知られています。墳丘の盛土が崩れるのを防ぐために松を植えて保全整備したことにより、現在でもその原型をとどめ、「日本で一番美しい古墳」と言われています。

西暦350年頃造られたと考えられ、周辺には10基ほどの古墳がありましたが、戦後の開田などにより、現存するのは8基となっています。約330年を経て、周溝などを含めた全体像を明らかにし保護行政に役立てるために、栃木県は再発掘事業に取り組み始めています。



古墳の周りは散策できるように綺麗に整備されています。



# ■ コミュニティ活動功労者表彰 ■

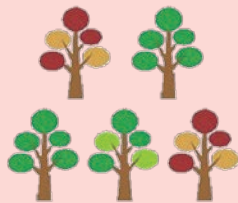
## 会長表彰



### ◆侍塚古墳松守会（大田原市）◆

アカマツの生えた美しい景観で「日本で一番美しい古墳」と言われ、国史跡でもある下侍塚古墳におけるアカマツの保護活動（害虫駆除のためのこも巻き・こも外し作業）を継続的に実施しています。

この活動は、季節の風物詩として、また文化財保護の象徴的な活動として地域にも浸透し、地元の小中学生たちも参加しています。こも巻きの技術の伝承、地域の年配者との会話を通じて良好な世代間交流の場にもなっており、地域の機運の醸成にも大きく寄与しています。



受賞された皆さま

おめでとうございます！

### ◆君島 守（那須塩原市）◆

平成8年から関谷下田野地区コミュニティづくり推進協議会の書記として活動に携わり、平成13年から事務局長、平成25年から会長として、地域コミュニティの振興に貢献しています。

特に防災事業に関しては、平成26年度からコミュニティの傘下組織である自主防災連絡会と合同防災訓練を実施し、平成29年度からはコミュニティまつりと防災訓練を同時開催することで地域住民の参加しやすい企画を実施、令和元年度は防災研修会を実施するなど、地域住民の防災意識向上に努めています。

また、関谷城鉾舞・関谷囃子などの伝統芸能の継承活動について、指導者としても尽力し、伝統芸能を生かした地域づくりに取り組んでいます。



### ●受賞に寄せて●

～歴史と伝統を生かした地域づくりを～

当地区は歴史と伝統文化が多く残っています。これらを活用した地域づくりをこれからも続けて行きたいと思います。

今回はありがとうございました。

# 「男女協働で“きらり”と光るまちづくり」

## ■コミュニティ研修会

立教大学社会学部 教授 萩原 なつ子 氏



はぎわら なつこ  
立教大学社会学部/大学院 21 世紀社会デザイン  
研究科 教授  
認定特定非営利活動法人日本 NPO センター代表  
理事  
(財)トヨタ財団アソシエイト・プログラムオフィ  
サイサー、東横学園女子短期大学助教授、宮城県環  
境生活部次長、武蔵工業大学助教授等を経て、現職。  
専門は、環境社会学、ジェンダー論、開発社会学、  
非営利活動論。

男女共同参画社会とは、性別に関係なく、誰もがその人らしく伸びやかに生きられる社会、個人がそれぞれ自分にふさわしい生き方・働き方を選択できる社会です。地域社会の中にも、子どもや高齢者、障害を持った方、外国の方などいろいろな人が住んでいます。ある特定の方の偏った考え方で地域づくりをすると、そのような人達を排除してしまうこととなります。いろいろな格差を是正していくためにも男女共同の視点は重要です。そして、変革には、トップの意識改革が非常に大きいのです。

地域社会の中で、男女と一緒に活動すると、災害時の復興対応や避難所運営に女性の視点が活かされます。また、高齢社会で一人暮らしの高齢女性が増えています。例えば自治会に女性がいると、対応しやすいというメリットがあります。

日頃から、地域社会の中でいろいろな人が参加する参加型まちづくりをしておく、災害の時に落ち着いて対応できます。

子どもを産む 20~30 代の女性が居なくなり、消滅可能性都市と言われた豊島区で豊島 F1 会議を立ち上げました。会議のメンバーは、行政が決めた人ではなく、自分達が豊島区を変えるという思いのある人達を選びました。テーマも行政ではなく、自分達で決めました。そこに行政職員も参加しました。行政との協働です。男女協働もそうですが、いろいろな主体が協働してまちづくりをしていかないと、まちは元気になりません。

地域でどんな課題があるのか、どんなことに困っている人がいるのだろうか、どんなことをやれば皆が楽しくなるのだろうか・・・を発見していくことがコミュニティの大事な役割です。いろいろな人達の考え方を取り入れ、様々な人達が参加・参画できる多様性のまちづくりをすると、皆が元気になっていきます。

私達もコミュニティづくりに協力しています

県民・行政・企業の協働と社会貢献活動のお手伝いをします！



**NPO 法人とちぎ協働デザインリーグ**  
TOCHIGI COLLABORATION DESIGN LEAGUE

みんなと育むまちづくりシンクタンク

とちぎボランティアNPOセンター「ぽ・ぽ・ら」管理運営団体

☎ 070-4288-7400 HP: <https://www.tochigi-tcdl.net/>



# はじめてでも大丈夫！

## 「オンライン会議に挑戦しよう！」

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、コミュニティ活動に取り組まれている方々も、必要な会議・会合などが開催しにくくなり、お困りかと思えます。

そこで、“zoom”を使ってオンライン会議の参加に挑戦してみませんか？

### オンライン会議に参加する方法

※オンライン会議への参加のみであれば会員登録せずに、無料で利用できます。

#### ●パソコンから参加する方法

1. オンライン会議の主催者から送られてきた参加用URLをクリックする。
2. パソコンへの zoom ソフトのインストールが済んでいる場合は、自動的にオンライン会議の画面が開きます。マイク・カメラの使用許可を求める表示が出てきますので、どちらも「許可」にして参加してください。
3. パソコンにまだソフトをインストールしていない場合は、自動的に「インストーラー」というものがダウンロードされて画面の下に表示されますので、そちらをクリックして手順に沿ってインストールしてください。自動的に上記2の手順に進みます。

#### “zoom”とは？

パソコンやタブレット・スマートフォンから利用できるオンライン会議やワークショップを行うためのサービスです。

#### ●タブレット・スマートフォンから参加する方法

1. アプリストアを開く (iphone なら「AppStore」、アンドロイドなら「GooglePlay」)
2. 検索欄に「zoom」と入力して zoom 公式アプリを探す
3. zoom 公式アプリをダウンロードし、「参加」ボタンを押す
4. オンライン会議の主催者から送られてきた「ミーティングID」を入力して参加する



POINT 主催者からメールで URL が届いてクリックする方法と ID とパスワードを入力して参加する方法があります。

### Zoom の機能

#### ○「ミュート」

設定すると、自分のマイクの音声を切る（ミュート）状態になります。（他の参加者に自分の声が聞こえなくなります。）再度、選択すると、ミュートが解除されます。

#### ○「ビデオの停止」

設定すると、自分のカメラの映像を切る状態になります。（他の参加者に自分の画像が見えなくなります。）再度、選択すると、解除されます。

#### ○「参加者」

選択すると、参加者の情報が表示されます。また、現在の参加者の人数が数字で表示されます。

#### ○「チャット」

選択すると、メッセージを入力できる画面が表示され、メッセージを参加者に送ることができます。

#### ○「退出」

選択すると、現在の zoom ミーティングから退出できます。



### 注意 点



- ・インターネット接続環境ができるだけ良い場所から参加しましょう。
- ・騒がしい場所からの参加は控えて、静かな場所から参加しましょう。
- ・複数名で参加する際、参加者ごとに違うデバイスを使用する場合は、ハウリング防止のため、距離を取って参加しましょう。（違う空間が良いでしょう。）



つっちー おすすめ!



### ◆ 書籍紹介 ◆

## 『参加したくなる会議のつくり方』 —公務員のためのファシリテーション入門—

加留部貴行著 ぎょうせい発行

以前、栃木県内のある自治体の「コミュニティ活動所管課」に訪問した際、「土崎さんの連載、読んでいますよ」と声を掛けられたのがうれしかったので、今回は少しだけ自治体職員の方々に寄せた内容をお届けしたいと思います。もちろん、活動実践者の方々をないがしろにしているわけではありませ

ん……！  
本書はぎょうせいの『月刊ガバナンス』の連載がベースになっています。本文は終始話し言葉でつづられ、著者の話を目の前で聞いているかのような錯覚に陥ってしまいます。著者の講演やワークショップは、何度参加しても毎回新しい発見があり、とてもおすすめです（コロナ禍でそうした場を設定するのが難しくなっていますが……）。

「コミュニティ活動において、避けては通れない営みが「会議」です。皆さんが関係している会議の数を数えてみると、ご自分でも驚くくらい多くの会議が存在していると思います。ということは、会議に関する悩みもきつと多いはず。特定の人しか発言しない、時間通りに終わらない、そもそもこんなに会議って必要なのか、などなど。

そんな悩みに効くのがファシリテーションの考え方です。このテーマに関する本は種々出回っていますが、本書は特に会議を構造的に理解し、そのうえで創造的な会議にするためのあり方とやり方を提示しています。また、ファシリテーションを「○○しやすくすること」と整理し、○○に言葉を当てはめ、具体的なアクションが複数示されています。

会議のファシリテーションとなると、外部から招へいた講師的なファシリテーターや進行役としての議長、グループワークのまとめ役などを想像しがちですが、いわゆる「事務局」と呼ばれる主催者にもファシリテーション能力が求められます。膨大な資料をまとめることも重要な役割ですが、（リアル・オンライン問わず）集まって場をつくることを念頭に置いた会議の準備や当日運営を実践したいものです。

土崎 雄祐（つちざき ゆうすけ）秋田県生まれ。これまでに NPO 職員や大学教員として学生向け地域志向科目や市民向け講座のプログラム開発、自治体職員研修の企画立案支援などに従事。（一社）とちぎ市民協働研究会専務理事、認定 NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房常務理事。公職として、那須塩原市男女共同参画審議会会長など。

■会員の皆様の活動内容やどんな想いで活動されているかを「コミュニティ通信」のコーナーで紹介させていただきます。原稿をお待ちしておりますので、是非ご寄稿ください。また、「こんにちはコミュニティ」についての感想や協会へのご意見などもお待ちしております。



## 私たちがコミュニティづくりに協力しています

『できる親切はみんなでしょう それが社会の習慣となるように』

### 「小さな親切」運動栃木県本部

代表：黒本 淳之介  
事務局：栃木銀行 経営企画部広報文化室  
住所：宇都宮市西2丁目1番18号  
TEL：028-633-1241（代）





## 連載 いきいきコミュニティライフ！④

文 / 安藤 正知

### 「学びの場」

宇都宮市には 787 の単位自治会がありますが、そのうちおよそ 1/3 の自治会では、自治会長が毎年変わると聞きました。班長のなり手探しも難しい中で、自治会長を引き受けてくれる人を見つけるのは大変な時代になっています。

自治会長が 1 年ごとに交代となると、地域が抱える課題、たとえば高齢者の脱会や班編成の必要性、女性や若者の活動参加など、長期的な取り組みが求められる事例への対応は厳しいものとなります。また、自治会加入もメリット・デメリットで論じられることが多い中、その対応に苦慮している役員も多くいらっしゃることでしょう。

こうした現状は、自治会という組織の意義を問い直すことにつながっていますが、その根幹について勉強しようと始めた場ここ 2 年程参加してきました。メンバーは自治会の現・元役員や NPO 理事など 6 名と少人数ですが、毎回テーマを決めて、意見交換・情報共有をしてきました。概ね月一回の開催で 9 月には 22 回目を迎えます。

話題は「加入率や行事への参加率低下への対応は？」「住民ニーズに基づく地域づくりをどうすすめるか」「役員のなり手を見つけるには？」「役員の役割はなにか」、などさまざまです。即効性のある解決策を見つけることが難しいものばかりですが、自分たちの経験や悩みを気負わずに話せる環境、「それ、あるある」と意気投合できる関係性は、孤独になりがちな自治会役員にとってとても貴重であり、有意義です。

この場で学んだことのひとつが「自治会はなんのためにあるのか」という問いへの答え、「自分たちが住む地域の価値を高めることができるのは、そこに住む住民自身であり、自治会はそれを実現するための住民による住民のための組織」です。もちろん答えは様々なので会員の皆さん全員の共通認識とはいかないでしょうが、暮らしやすい地域社会に向けて何をすべきか、その理想を語り続けることは大切だと教えていただきました。「為せば成る」ですね。

安藤正知(あんどう まさとも)

認定 NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房 理事長

秋田市出身。化学品会社に 16 年勤務後退職し、2003 年より宇都宮市民活動サポートセンター勤務、2005 年 NPO 法人宇都宮まちづくり市民工房設立に関わり、2019 年理事長就任、市民主体のまちづくりを目指して調査研究、まちづくりの実践を行っている。2012 年 1 月宇都宮市が開設した宇都宮市まちづくりセンターの指定管理者としてその管理運営に携わる。





# コミュニティ日和

作：平子めぐみ



## お知らせ



### 精鋭部隊



### ▼ 新規会員募集 ▼

当協会では、住みよい地域社会の実現のために、地域づくりに必要なリーダーの養成をはじめとする各種事業を行っています。

今後さらに事業の充実をはかるためには、協会の活動に賛同される企業、団体の御協力が必要です。協会の趣旨にご理解いただき、ご加入をお願いいたします。

一般会員 (3,000 円)・賛助会員 (10,000 円)・個人賛助会員 (2,000 円) を随時募集しておりますので、お問合せ等ございましたら事務局までご連絡ください。

### ▼ 会員代表者等の変更について▼

代表者、または住所等の変更がありましたら、事務局あてに随時ご連絡ください。(FAX可)

### 栃木県コミュニティ協会のマスコットキャラクター「コミたん」をご存じですか？



栃木県のかたちをした、ひつじ。“地域みんなの心の糸を紡ぐ” という意味が込められています。

背中の“C”のマークは、当協会のシンボルマーク。“C”と“M”を図案化したもので、“C”はコミュニティやカントリーを表し、“M”は人々のつながりを表しています。

人々の心のつながりの大切さを表現しています。

ほのぼのした内容で読む人の心をほっこりさせる4コマ漫画「コミュニティ日和」の作者平子めぐみさんは、今年の3月までとちぎ市民活動推進センター“くらら”のスタッフとして働いていましたが、4月から福島県いわき市遠野町地域おこし協力隊の一員として再スタートを切りました。

今後もこの4コマ漫画のファンのために、「コミュニティ日和」の作成にボランティアで協力してくれることになりました。

これからは、地域おこし協力隊の体験も交えながら、ほっこりエピソードをお送りします。



発行：栃木県コミュニティ協会

〒320-8501

栃木県宇都宮市埜田 1-1-20

栃木県県民生活部県民文化課内

TEL 028-623-2110/FAX 028-623-2121